

所在不明高齢者

○厚生労働省調査

徘徊などで行方不明となった認知症の人等に関する実態調査

目 的 区市町村が把握している行方不明者数や身元不明者の状況や自治体における取組等を把握・分析し、今後の認知症施策に反映

実施機関 国が集計（区市町村の調査結果）

調査内容 ①区市町村の概況（基礎情報）
（高齢者人口、認知症高齢者数など）
②徘徊などによる行方不明者等の状況
（行方不明者数、発見者数、未発見者数など（要介護度別））
※対象には、若年性認知症、認知症の疑い含む。
精神疾患は含まない。

③身元不明者の状況
（保護開始年月日、現在の居住場所、推定年齢など）
※対象は、推定年齢40歳以上
④徘徊見守りSOSネットワークなどの事業実施状況
都が取りまとめ、7月に国への提出。